

杉原 利充

Sugihara Toshimitsu

仲間と共に
オリジナルマスクも



杉原 利充さん(本郷)

10代の頃から音楽やファッションが好きで、自らオリジナルグッズを作成していた。大人になってからも制作活動を続け、個展やTシャツ展で作品を発表。志賀英夫さん(蒜山下長田)、金田久克(久世)さんの2人とともに「0867合同会社」を運営する。

「0867」を着ると聞こえてくるかもしれないと言います。

「0867」を着ると聞こえてくるかもしれないと言います。そしていく挑戦をやめたいと言います。ことに自身やロゴを成長させていく挑戦をやめたいと言います。ことに自身やロゴを成長させていく挑戦をやめたいと言います。ことに自身やロゴを成長させていく挑戦をやめたいと言います。

真

MANIWA BITO

庭人

ファッションが代弁する「あきらめるな」

Tシャツに大きくあしらわれたひび割れた数字をよく見ると市外局番「0867」になっています。これは杉原利充さんが10年前に考案したものです。

よほど地元に着る愛着があるのかと思いきや、杉原さんの口からは「特に真庭が大好きとか、そういうことじゃなかったんです。若い頃は地元に対して、息苦しさや閉塞感を感じていました。今ほど情報を簡単に得ることもできなかったもので、枯渇感というか、いつも飢えている感じはありました。満足しきれない自分がいるというか」と、意外な言葉が出てきました。「ただ、田舎だから好きなことができないとか、

好きなことをあきらめるとか、そういうことは違うんじゃないかなと思ってこのロゴを作ったんです。最初は友達とかに配っているだけだったし、分かる人にだけに理解してもらえばいいと思っていました」と当時を振り返る杉原さんですが、合同個展やオリジナルTシャツ展などで「0867」のロゴが入った作品を発表する内に、ロゴに魅かれて一緒に活動をしたという仲間が現れました。

「好きなモノを手放すな」

ロゴを通じていろいろな人たちと出会った杉原さんは、志賀さん、金田さんという2人とチームを組み「0867合同会社」を共に運営す

まにわびと
14

2020